

2019 年度 事務事業評価(2018年度実施事業事後評価)シート / 2020 年度 実施計画調書 (  新規  拡充  縮小  休止・廃止  現状維持 )

1 事務事業の基本情報										整理番号	063								
事務事業名	防犯対策経費			補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている ( 年度まで ) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない		予算科目	区分	一般会計	款	02	項	01	目	14	事業	04
担当部	経済環境部	担当課	生活環境課		担当係	交通・防犯係													
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input checked="" type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input type="checkbox"/> その他の計画 ( 名称 : )										根拠法令及び市条例等	<input type="checkbox"/> 国の定める法律 ( 名称 : ) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 ( 名称 : ) <input type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則 ( 名称 : )							

2 事務事業の目的		当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か？→ ②一方で、「現状や課題」はどのようなか？→ ③そのためには何をすべきか？ という過程で考えていただいても結構です。																																	
現状課題	市では、犯罪被害者を1名でも出さないこと、また犯罪を未然に防ぐことなどを重点に、関係機関と協力し取り組み、市内各地で防犯パトロール等を実施している。犯罪件数は、平成29年には一旦減少したものの、未だに若干ではあるが増加傾向にある。この為、犯罪抑止に有効な手法として、主要交差点や橋梁付近、人の出入りが多い駅周辺には防犯カメラの設置が不可欠であるとの警察からの指導があった。このようなことから、関係機関や関係団体と連携して防犯パトロールの強化や、防犯カメラの増設等、安全で住み良い環境づくりが必要である為、継続的に多面的な防犯対策を実施していく必要がある。										誰・何を対象に	全ての市民		どのような方法・手順で	児童生徒の安全確保の観点から、登下校時の立哨指導を実施する。また、防犯教室を開催し、防犯教育の充実を図る。その他、犯罪抑止効果を促し、また未然に犯罪を防ぐための防犯カメラを年次計画で市内各所に設置したり、地域に密着する防犯活動をさらに強化したりするなど、多面的に防犯活動を展開していく。										望ましい状態	近年、犯罪は多様化するとともに増加傾向にある。犯罪のない安全・安心な社会を築くためには、防犯協会を中心として関係団体と連携した活動を行うとともに、地域と密着した活動も必要である。その中で、防犯パトロールを始めとして、防犯教育などを積極的に行い、防犯意識の向上を図る。 また、犯罪抑止力を強化するため、防犯カメラの設置を推進していく。									

3 事務事業の主たる成果指標										数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。									
指標名	犯罪発生件数(刑法犯総数)	単位	件	目標値	400	目標年次	2021	年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	刑法犯総数の平成25～29年の過去5年間の推移は、679件から440件と初めて500件を下回ったが、H30年は488件と増加してしまったため、2021年度の目標値として設定した。									

4 事務事業の実績 ㉑										当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。									
年度	2016年度				2017年度				2018年度										
	業務名	活動量	活動量	活動量	業務名	活動量	活動量	業務名	活動量	活動量	活動量								
年度	① 防犯パトロール	180回	① 防犯パトロール	180回	① 防犯パトロール	180回	① 防犯パトロール	180回	① 防犯パトロール	180回	① 防犯パトロール	180回							
	②		② 空家等対策協議会	3回	② 空家等対策協議会	3回	② 空家等対策協議会	1回	② 空家等対策協議会	1回	② 空家等対策協議会	1回							
	③		③ 防犯カメラ設置	7台	③ 防犯カメラ設置	7台	③ 防犯カメラ設置	5台	③ 防犯カメラ設置	5台	③ 防犯カメラ設置	5台							
	④		④		④		④		④		④								
	⑤		⑤		⑤		⑤		⑤		⑤								
	⑥		⑥		⑥		⑥		⑥		⑥								
	⑦		⑦		⑦		⑦		⑦		⑦								
	⑧		⑧		⑧		⑧		⑧		⑧								
	⑨		⑨		⑨		⑨		⑨		⑨								
	⑩		⑩		⑩		⑩		⑩		⑩								
	⑪		⑪		⑪		⑪		⑪		⑪								
	⑫		⑫		⑫		⑫		⑫		⑫								
目標値に対する実績値		581 件		目標値に対する実績値		440 件		目標値に対する実績値		488 件									
決算額	計	2,991,143 円	内訳	特定財源		円	計	3,876,546 円	内訳	特定財源		円							
				一般財源	2,991,143 円			一般財源	3,876,546 円		一般財源	1,000,000 円							
					49 円				64 円			80 円							
					(住民一人あたりの行政コスト)				(住民一人あたりの行政コスト)			(住民一人あたりの行政コスト)							

5 担当者評価 ㉒		実施したことによる成果や問題点を記入してください。										
成果	目標以上	成果内容	刑法犯総数500件の目標に対し、平成29年は440件と大幅に減少したが、H30年に488件と増加してしまった。 目標以上ではあったが、さらなる目標を設定し犯罪件数減少を目指す。									
問題点			平成29年度は刑法犯総数440件と減少はしているものの、犯罪抑止力の更なる強化のために、主要交差点や人の出入りが多い駅周辺には防犯カメラの設置が不可欠である。このようなことから、関係機関や関係団体と連携した防犯パトロールの強化や、橋梁及び主要交差点での防犯カメラの増設等、安全で住み良い環境づくりが必要である為、継続的に多面的な防犯対策を実施していく必要がある。									

6 担当部長及び担当課長評価 ㉓		担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。									
事務事業の方向性											
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止											
評価理由	犯罪発生件数を減少させるため、警察署等の意見を聞きながら、防犯カメラの増設を計画的に進めていくとともに、防犯パトロール活動の支援を継続的に実施し、犯罪防止と市民の安全安心を確保していく。										

7 実施計画 ㉔										今後3年間の事業内容について、どのようなことをどの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の「歳出の計」と「歳入の計」は一致させてください。									
年度	2019年度				2020年度				2021年度										
事業内容	常総地区防犯協会及び関係ボランティア団体等と連携、協力し市内各地で防犯パトロール等を実施する。 防犯カメラ設置計画を整備し、常総警察署生活安全課の指導のもと、適切な場所へ防犯カメラを設置し、犯罪抑止力を強化、犯罪発生時の検挙率の向上等、安全、安心なまちづくりに取り組む。 ※防犯カメラ設置予定台数 5台/年 (空家対策事業は都市計画課へ所管替えのため該当事業費を減額) ※下記予算計上額は当初予算額を記載。				常総地区防犯協会及び関係ボランティア団体等と連携、協力し市内各地で防犯パトロール等を実施する。 防犯カメラ設置計画に従い、常総警察署生活安全課の指導のもと、適切な場所へ防犯カメラを設置し、犯罪抑止力を強化、犯罪発生時の検挙率の向上等、安全、安心なまちづくりに取り組む。 ※防犯カメラ設置予定台数 5台/年				常総地区防犯協会及び関係ボランティア団体等と連携、協力し市内各地で防犯パトロール等を実施する。 防犯カメラ設置計画に従い、常総警察署生活安全課の指導のもと、適切な場所へ防犯カメラを設置し、犯罪抑止力を強化、犯罪発生時の検挙率の向上等、安全、安心なまちづくりに取り組む。 ※防犯カメラ設置予定台数 5台/年										
	成果指標	指標名	犯罪発生件数(刑法犯総数)	単位	件	目標値	460	指標名	犯罪発生件数(刑法犯総数)	単位	件	目標値	430	指標名	犯罪発生件数(刑法犯総数)	単位	件	目標値	400
	予算額	歳出	計	4,323 千円				歳出	計	4,600 千円				歳出	計	4,730 千円			
			特定財源						特定財源						特定財源				
	歳入	一般財源	4,323 千円				歳入	一般財源	4,600 千円				歳入	一般財源	4,730 千円				
		計	4,323 千円					計	4,600 千円					計	4,730 千円				

8 財務アドバイザーの見解		『常総市財政健全化計画』では、2017～2019年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は2020年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いことが期待される2019年度の一般財源予算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。									
---------------	--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

9 行政改革懇談会(市民)の意見		担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。 市民の安全安心のためには、防犯カメラの設置が必要と考えるので、さらに増やしてほしい。									
------------------	--	--------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

10 最終評価(行政改革推進本部) ㉕		実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。									
事務事業の方向性											
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止											
評価理由	全国的にも犯罪の手口が多様化しているおり、防犯カメラの設置については、犯罪件数の減少や抑止力につながるため、年次計画の中で設置していくべきである。今後、防犯ボランティア団体の活動も支援していき、さらなる防犯対策に努めるべきである。										

11 事務事業の改善理由及び改善部分 ㉖		実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。									
事業内容											